1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年3月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400115
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム まごころ
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1番地238 (電話) 0994-32-6676
自己評価作成日	R6. 2. 20

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念「まごころ」「寄り添い」「支え合い」を職員で共有し、日々のケアに努めています。医療法人浩愛会が運営しており、「池田温泉クリニック」と連携を取り、体調不良時・急変時の迅速な対応が可能であり、早期発見・対応を心がけています。入居者様の話を良く聴き、入居者様の感情に触れ、入居者様との関わりの中で、「お互い様」の気持ちを大切にし、入居者様と共に過ごしています。入居者様の言葉に出来ない思いや、伝えられない思いを職員で話し合い、少しでも自己実現に近づける様に職員同士で報告・連絡・相談ができるように心がけています。また、職員のスキルアップを目指し、外部の研修も積極的に参加して、ケア会議で伝達研修も行っています。コロナ禍のため、地域との交流や屋外の活動は自粛していますが、敷地内の畑や花壇の手入れなど取り組んでいます。今、出来る事を考え、季節の行事や誕生日等のイベントを工夫し大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、錦江湾や桜島が望める自然豊かな垂水市錦江町の海岸沿いの一角に、小規模多機能ホームや「グループホームひまわり」に併設しており、これらの3事業所は日ごろから情報の共有に努め、会議や研修、防災訓練を合同で実施し、緊急・災害時の協力の体制も構築している。周辺には葬祭場やAコープ、青果卸市場、個人住宅があり、少し離れた市の中心部には市役所や小・中学校、交番、郵便局、金融機関、医療機関、多種の商店、個人住宅等が建ち並び利便性に恵まれた環境である。

管理者及び職員は、家族や地域との関係の継続に大切にに取り組んできており、コロナ感染症が5類に移行したのを機にそれまでの自粛を徐々に緩和して、家族や友人との面会や周辺の散歩、通院、訪問美容、ドライブによるコスモスや菜の花等の花見、家族との外出や外泊、一時帰宅等を感染予防に努めながら実施し、農産物等も頂いている。住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアの相談対応や地区民生委員に認知症サポーターステップアップ講座を開設して認知症ケアの理解を図り、施設見学等にも丁寧に対処するなど円滑な交流に取り組んでおり、これらの交流や外出を利用者は楽しみとしている。今後も感染症予防に配慮しながら、家族や地域との交流の機会を増やしたい意向である。

管理者及び職員は、ケアの基本である理念を常に意識し、利用者の尊厳や人格、想い等を大切に、家庭的な雰囲気の中でその人らしい生きがいのある暮らしとなるように心身の状態や生活ペースにも配慮しながら支援に取り組んでいる。日頃から利用者及び家族の要望等の把握に努め、ケア会議等で協議して改善に繋げており、本評価に伴うアンケートからも家族の信頼度の高さが窺える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、日々のケアで方向性が違ったり、迷ったときに振り返る基になることを職員で共有できるように話し合っている。	開設時に設けたホームの理念に「まごころ 寄り添い、支え合い」を掲げ、目に付き易い玄関やホールに掲示しパンフレットにも記載して周知を図っている。日常のケアの中やケア会議、研修会等で理念の意義や理念に沿ったケアが実践されているか等の振り返りを行い、理念に立ち返りながら支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度も新型コロナウイルス感染予防対策のため地域との交流は自粛中である。民生委員の方が定期的に窓越しではあるが様子を見に来てくれる。	コロナ化による自粛を徐々に緩和し、家族や友人との窓越しの面会や散歩時の挨拶、通院、訪問美容、家族との外出、ドライブによるコスモスや菜の花、つつじの花見等を実施し、農産物の差し入れも頂いている。町内会に加入して情報を把握し高齢者福祉や認知症ケアに関する相談や施設見学等にも丁寧に対応し、認知症サポートステップアップ講座も開催して認知症ケアの理解に努めている。ホーム内でのイベント時の家族や地域住民の参加やボランティアの受け入れ、買い物での外出等は現在も自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症介護相談所を開設し、地域住民の相談について、認知症の勉強会や研修に参加し、適切な支援ができるようにしている。認知症サポーターステップアップ講座の講師として参加している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染予防のため、今年度の会議も、行政のみの参加となっている。事業所の活動内容報告をし積極的に意見や地域の情報を頂いている。	コロナ禍に配慮して家族の参加は控えて委員は市役所の担当者だけの出席で隔月毎に会議を継続している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット、感染症対策等の報告や意見交換を行なっている。職員は会議の内容を議事録で周知し、ケア会議等で内容を協議して業務やサービスの向上を図っている。家族や地域住民等の出席を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議時に報告をおこなったり、市の主催する研修会に参加した時など、情報交換し、助言など頂いている	市担当者には運営推進会議や日頃の連携で現況の理解を得ている。市役所の窓口や電話、メール等で介護保険の更新や各種制度、感染症対応の申請や報告等に努め、生活保護受給の利用者が入所している時は処遇に関する協議を密に行う等協力関係を築いている。市からの情報の把握に努め研修会にも参加して、運営やサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内に身体拘束委員会があり、委員が会議に参加している。他事業所と困難事例の報告をし、支援の検討をしている。入居者様の症状に応じて対応しているので身体拘束はしていない。	身体拘束や虐待をしないケアについては運営規定や重要事項に明記し「身体拘束適正化の指針」を整備している。委員会を毎月開催し、具体的な事例もあげながら拘束や虐待による弊害等の認識を共有し、日常的に振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる。スピーチロック等不適切な言動が見られた時はその都度、助言や指導するなど常に改善を図っており、センサー利用（3人）はプランに反映し家族の了解も得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待を未然に防ぐことが出来るように職員同士で、遠慮せず、正直な気持ちを話せるような事業所づくりを目指している。職員の介護ストレス等に気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内で権利擁護に関する勉強会をおこなっている。権利擁護の指針を理解し、入居者様の権利を阻害しないように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に重要事項説明書をもとに説明を行っている。急変時の対応や長期入院時の対応などは家族面会時などで話し、ご理解を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に1回 居室担当がご家族へ入居者様の状況報告を行い、意見を伺い、ケア会議などで情報の共有をし検討している	日頃から利用者や家族とはコミュニケーションに努め気軽に話せる関係を築いており、利用者の思いは日常の会話や仕草、サイン等から汲み取り、家族の意見・要望は、面会や電話、意見箱の設置、担当職員の電話による状況報告、ホーム便り「ひまわりの里まごころ」にスナップ写真を添えるなど近況を伝えながら把握している。出された意見、要望はケア会議で協議して利用者主体のケアに取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に面談を行っており、意見交換を行っている。運営はケア会議で職員間で意見を出し合い、職場環境作りに生かしている	管理者及び職員は忌憚なく意見を言い合える信頼と協力関係を築いている。通常の業務の中やケア会議等で意見や要望を出し合い、また、人事考課に伴う個人面談（年3回）も行って業務や就労条件の改善を図っている。管理者は日常的に業務に関する助言や指導に努め、休憩時間の確保や有給休暇の取得、介護ストレス、個人的な事情にも配慮するなど働きやすい職場作りに取り組んでいる。インドネシアからの技能実習生（1人）も対人関係に問題はなく意欲的に就労している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課などを実施し、勤務状態の評価をし、個人面談時に向上心をもてるように配慮しながら本人にも話をしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の個性や能力・得意とすることを把握し、法人内外の研修計画を立てている。また年度はじめに「目標管理シート」を作成して取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で行われる研修会に職員を参加させ、市内の他事業所の職員とも顔見知りの関係ができる時間をつくっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所開始からすぐには、信頼関係を築くことは難しい事を家族に説明し、ご理解・協力をお願いしている。職員にも入居者様の不安な気持ちを傾聴し、寄り添うよう取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に、家族の今までの経緯や困りごとなど聞くようにしているが、不安な気持ちや思いは変化していくのでその都度話してもらえよう信頼関係の構築を心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意向を確認しながら、無理のない様にスムーズにサービスが提供出来る様にしている。入居する事でいい距離感ができて、よりよい関係性に戻られるよう気を付けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を尊重し、職員の事を受け入れてもらえるよう日々努力している。信頼関係のもとにできることは職員と一緒にしてもらい「ありがとう」「助かっています」の気持ちを伝える様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所されたことで、関係性が薄くならない様に、電話やたよりなどで近況報告し、必要な品物などの購入の協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍のため、施設内での生活が中心となっているが、ご本人が大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れない様にドライブで車窓から見てもらったり、電話の支援をしている。	各利用者の家庭環境や生活歴、馴染みの情報を把握している。コロナ感染症が5類に移行したこともあり自粛を緩めて、家族や友人との面会の実施や下宮神社での初詣で、ドライブによる周辺の街並みや季節の花見、家族との外出、自宅訪問、お寺の参拝等に取り組み、市広報誌も活用して出身地の情報を伝えている。日常的に電話や手紙の取り次ぎも行う等馴染みの関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の関係性を大事にし、職員間で情報共有しながら、席の配置を考えている。気分の変動がみられる時は職員が関わるように心がけている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時にいままでの関わり感謝していることを伝えるようにしている。退去されても、関係性を大切にしていきたいことを伝えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との日々の会話の中から希望を把握し、本人本位の考え方をもとに職員間で検討している。家族にも相談し協力をお願いしたりしている	重度化で意思表示が難しい利用者もいるが日頃の対話や寄り添いの中で気持ちを表出できるようなケアに努めて思いを汲み取り、家族の意向も確認しながら自己決定を尊重したその人らしい暮らしの支援に取り組んでいる。利用者が希望する趣味や楽しみ事、家事の手伝い等の取り組みは心身の状況も配慮しながら個別の支援に努め、これらの成果には評価や「有難う」「助かります」等の言葉を添えて自己肯定感の修得を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書の把握をし、入居者様・家族との関わりの中で知り得た情報も職員間で共有出来る様にケア会議などで話し合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの個性を大切にし、日々の関わりの中で「気づいたこと」を共有し、活かせることが出来る様にしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の要望を中心に考え、家族に確認しながら、職員の意見を参考にし介護計画を作成している。また担当職員も設け、サービス提供確認や評価ができるよう努めている	利用者や家族の意向を汲み取り、主治医の指示や3か月毎のモニタリング、カンファレンス時の職員の意見、日頃のチェック表や記録等を基に習慣や楽しみ事にも配慮して、残存する力を発揮できるような計画を作成している。計画は定期的に見直しているが、利用者の心身の状態に変化が見られた場合は実態に沿って随時変更している。ケアの実施状況を各種のチェック表や「業務日誌」「連絡ノート」等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り、連絡ノートを活用し、職員間で情報共有に努め、サービス内容の振り返りや介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況変化に対応できるように、職員間でサービス内容の検討をし、様々な意見をもとに柔軟な支援が出来る様に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため、地域との交流が出来ていないが、自宅だけではなく、生まれた地域の把握をし、市報などで地域の情報を伝えるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の関係性を大切にし、本人・家族の意向によりかかりつけ医を決めてもらっている。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、協力医療機関や入所前の医療機関での治療を継続している。訪問診療（月2回）や通院を実施し他科受診（皮膚科、眼科、整形外科）も家族と協力して適切な医療を受けている。歯科は必要に応じて訪問診療が実施され口腔機能のチェックも受けている。かかりつけ医や協力医療機関とは医療連携の体制も築いており、健康状態は家族にも随時報告して共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に些細な事も相談し、助言をもらっている。またかかりつけ病院の看護師との情報交換の窓口になってもらっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は当該病院の相談員と連絡をとり、情報提供をしたり、状態把握に努めている。本人・家族にも連携していることを伝え、不安な気持ちが軽減出来る様取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、リスク説明の中で終末期の要望を確認し事業所での取り組みを説明し、ご理解をしてもらっている。関わりの中で終末期のあり方についても変化が見られると思うので、柔軟な支援が出来る様にし、チームで取り組めるように情報共有に努めている	看取りの対応は指針を整備しており利用開始時に利用者及び家族に「入居時のリスク説明書」で説明して同意書を貰っている。重度化した時点で主治医や家族と話し合いを行い、希望に沿ってホームで可能な限りのケアをチーム体制で取り組んでいる。急変時対応を含む研修の実施でスキルアップと不安感の軽減に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応は定期的に看護師を中心に勉強会を開催し、確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回 避難訓練を行っている。夜間発生時の緊急連絡の訓練は行っているが、人員の少ない時の避難については職員間で検討している。海岸沿いでもあり、桜島も近いので、火山噴火時の対応や津波発生時の訓練を机上にておこなっている。業務継続計画の研修も行っている。</p>	<p>年2回（1回は消防立ち合い）夜間想定を含む火災中心の災害訓練を隣接の小規模多機能ホームや「グループホームひまわり」と合同で実施し、災害時の通報や避難、防火設備の取扱い等も研修している。風水害や地震（津波）対応、連絡網、避難経路等を確認し災害の報道も話題にする等、防災への認識の共有に努めている。災害発生時の飲料水や食料品、介護用品等は法人本部から5日分が届けられて備蓄しており、ラジオやカセットコンロ、懐中電灯等も備えている。BCPは作成済みで来年度から実施の予定。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を大切にし、生活歴も様々であることを認識し、理解しながら対応することを心がけている	利用者の人格の尊重やプライバシーの確保、守秘義務については接遇研修を実施し尊厳や利用者毎の習慣、自己決定等を大切にケアに努めている。業務の中やケア会議等で意見交換も行って認識を共有し、排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮しており居室への入室時もノックや声掛けを励行するなど接遇マナーに努めている。利用者に関する台帳類も事務室で適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望を日々の関わりの中から引き出し、自己決定を促し、実現できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の1日の流れはあるが、パーソンセンタードケアの履行を念頭に、その方のペースで過ごせるよう職員間で共通の認識を持ち取り組んでいる		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は本人に選んでいただいているが、選べない・わからない時はサポートしている。散髪はコロナ禍のため、施設内でおこなってもらっているが、本人の希望をきいて、伝える様にしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけを入居者様と一緒にこなしている。畑の野菜の収穫から下ごしらえ、調理の手伝いも手伝ってもらったりしており、感謝の気持ちを伝える様にしている	昼食と夕食の副菜は法人母体の医療機関から配達され、トロミや刻み食など利用者の状態に応じた形態に努めている。行事食（おせち、敬老会、クリスマス他）は配食を止めて利用者の希望等も確認しながらホームで調理しており、誕生日やクリスマスのケーキ、園庭でのお茶、手作りのおやつ（ふかし芋、たこ焼、水羊羹他）、ドライブ先でのお茶タイム等、食事が楽しみなものとなるよう工夫している。利用者も食材の下処理やテーブル拭き等を一緒に行い、利用者毎に食事や水分の摂取量を把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューにおいて、管理栄養士の指導を受け、食事の提供を行っている。1日分の食事・水分摂取量を記録し、少ない方には、飲食物の工夫をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、本人が出来る方は自己にておこなってもらい、最後に確認するようにしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介護記録に排泄状況を記録し、パターンを理解する事で、失敗を防ぐことが出来、本人の自信にもつながっている。できるだけトイレで排泄する取り組みをし実行している	利用者の身体の状態やパターンに対応した支援を自尊心や習慣、羞恥心等に配慮しながら取り組んでいる。昼間は声掛けや誘導により可能な限りトイレでの排泄を支援しており、夜間のみポータブルトイレやリハビリパンツにパットを使用するなど利用者毎に介護用品やケアの方法をプランに反映させて支援している。便秘の予防にオリゴ糖や水分の摂取、腹部マッサージ、運動等に配慮しているが、主治医の指示で服薬する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により、排便の状態を把握している。水分量の確認や腹部のマッサージ、オリゴ糖を使用したりして早めの対応に努めている。排便困難な方にはかかりつけ医に相談し薬剤を使用し体調管理に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は楽しみの時間になっているため、本人の希望、ペースに合わせて入浴出来る様に支援している。	個浴で午前入浴を2人介助も行いながら基本週2～3回支援し、状況によってはシャワー浴や清拭で保清している。入浴の順番や温度、時間、好みのシャンプー、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、柚子湯や入浴剤なども取り入れてゆっくり楽しんで貰っている。入浴後は水分補給や主治医処方軟膏の塗布を支援し、入浴を渋る利用者には無理強いせず時間や介助者の変更、声かけ等を工夫しながら支援している。入浴時の職員との親密な会話で、利用者の思い等が汲み取れることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターンを記録し、睡眠状態を把握できるようにしている。不眠・不穏のある方は無理強いせず本人のペースを大事にすることを心がけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は事務所でしている。スタッフが複数で確認し、与薬時には本人と確認するように取り組んでいる。処方内容も確認し、変更時は申し送りノートに記載し情報の共有が出来る様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の意向を大事にし、職員間で情報共有、検討し出来る事を取組んでもらうようにしている。ご本人にあった「役割」が見いだせるように努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりとし、ドライブ程度ではあるが外出している。屋外の散歩は天候次第で毎日おこなっている。	外出を利用者の意向も把握して取り組んでおり、コロナ禍やインフルエンザ等の感染予防に努めながら園庭での外気浴や周辺の散歩、通院、ドライブによる自宅訪問や季節の花見、家族との外出等を取り組んでいる。外出の機会が少なくなっているため室内でのレクリエーションの取り組みも時節に応じた作品作りや軽い体操、ゲーム、昔の音楽やテレビ視聴等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持している方もおられるが、現在は買い物に行けていない状況である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時は、電話支援している。携帯電話も所持している方もおられるが、充電の管理を行っている。家族からの郵便の受け渡しも行っている。手紙のやり取りを希望される方はいませんが、声掛けし希望時は支援していきます</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や天候を考えながら快適な空間づくりを心がけています。またレクレーションで作成した季節にあった工作を展示し、季節感を感じられる様に工夫している</p>	<p>ホーム全体がバリアフリーで、利用者が昼間の多くの時間を過ごすホールは余裕のある広さが確保され和室も設けてある。整理整頓や採光、空調、換気等を徹底し、テレビやテーブルセット、ソファ、加湿器、空気清浄機、サーキュレーター等が安全や利便性、対人関係等を考慮して設置されている。季節に沿った展示物（雛人形等）や利用者の作品（絵画、貼り絵他）、写真、活花等が飾られ、台所からは調理の音や臭いも伝わる等家庭的な雰囲気や清潔感のある空間となっている。利用者は遠くの桜島を眺めるなど好みの場所で平穏な日々を過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室やソファを利用して、気の合う方々で過ごせる時間が増えるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前に本人・家族と相談し、自宅で使用されていた物やこだわりの物など持ってきていただき本人が落ち着いて過ごせるようにしている。また本人が安全に移動できるようにレイアウトも考えている</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るくエアコン、ベッド、タンス、ナースコールが備えられ、過度なケアとならないように利用者に確認しながら清掃や整理整頓を支援している。利用者は自宅から愛用の寝具やテレビ、遺影、家族写真、ぬいぐるみ等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いで頂いた額等も飾って家庭同様に居心地良く過ごせる環境を整えて安心した日々を過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの能力に応じて、居室の工夫をしたりホール空間を快適で安全な場所になるように工夫している。トイレの場所もわかりやすいように表示している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない